

只阪急嵐山駅 Hankyu Arashiyama Station













嵐山
りらくま茶房

りらくま
CAFE RESTAURANT







おみくし
Omikuji Machine
- 100円 (税込) 1回 -

野宮ののみや
(野宮神社)

平安時代の齋宮いはいみやが伊勢下向に備えて潔齋生活をした野宮の一つ。齋宮に任命されると、一年間、宮中の初齋院はつさいいんに入って身を清め、そのあと浄野主として嵯峨野一帯に設けられ、建物は天皇一代ごとに造り替えた。南北朝の戦乱で齋王制度は廃絶したが、神社として後世に残された野宮神社には黒木くろぎ(皮のついた丸木)の鳥居と小柴垣こしばがきが再現されている。

齋宮となった六条御息所むすぶみの娘(後の秋好中宮あきよなかつみや)が一年間、野宮で潔齋生活を送り、いよいよ伊勢に下向するという直前に、光源氏が六条御息所を野宮に訪ねる場面が『源氏物語』『賢木けんぎ』にみえる。そこは小柴垣を外圍にし、仮普請かりふしやうの板屋が建ち並んで、黒木の鳥居とある。

「はるけき野辺のへを分け入り給より、いとものあはれなり。秋の花みなおとろへつ、浅茅あさかやが原もかれくなる虫むしの音ねに、松風すごく吹あはせて、そのこととも聞きわかれぬほどに、ものの音ねども絶えなく聞こえたる、いと艶うつくなり。(中略)

ものはかなげなる小柴垣こしばがきを大垣おほがきにて、板屋いたやども、あたりあたりいとかりそめなり。黒木の鳥居とりいども、さすがに神かみくしう見わたされて、」

『源氏物語』『賢木』巻より抜粋

平成二〇年三月 京都市



土馬 雨乞いや長雨が止むのを祈る。あるいは疫病神や祟り神を討つための
乗物などと考えられている。
(財)京都市埋蔵文化財研究所提供

Nonomiya (Nonomiya Shrine)

This was the residence in Heiankyō of the saigū, a princess or female relative of the emperor who served the goddess Amaterasu at Ise Shrine on behalf of the emperor.

노노미야(노노미야 신사)

천황을 대신하여 이세진구(伊勢神宮) 신사의 「아마테라스 오미카미(天照大神)」를 공양하여 역사(사대)는 사이(斎宮) 황녀의 책임(책임)에서 맡아진 곳에 있는 거처.

野宮(野宮神社)

桓武天皇朝に伊勢神宮供奉天照天神的齋宮(皇女、公主)在平安京之外祈禱之処。



源氏物語絵巻「柏木(二)」 京都市立芸術大学芸術資料館所蔵



















